

調達コードの実施状況について

2025年3月10日 第12回持続可能な調達ワーキンググループ

公益社団法人
2025年日本国際博覧会協会
持続可能性局



●目次

1. 持続可能性に配慮した調達コード（第3版）の周知・運用状況
 2. 通報受付対応（グリーンバンス・メカニズム）の周知・運用状況
 3. 博覧会協会における遵守状況の確認
 4. 調達計画書の集計状況
- （参考）事前質問票例、内装工事における質問・確認事項



1. 持続可能性に配慮した調達コード（第3版）の周知・運用状況

■ イベントや講演会等における調達コードや持続可能性に向けた取組の周知

- ・ 協会主催行事（営業参加者、サプライセラー向け説明会等）
- ・ 外部（消費者団体、サステナビリティ イニシアチブ等）が主催するイベント・講演会

■ メディアを通じた調達コードの周知



〔（一社）日本惣菜協会「jm News」2024年12月号〕



〔「消費と生活」2025年382号1月1日発行号〕

持続可能な大阪・関西万博を目指す

1. 持続可能性に配慮した調達コード（第3版）の周知・運用状況

■協会が認める認証スキーム

- ・個別基準（農・畜・水産物、パーム油）における協会が認める認証スキーム等について、以下の認証を認めることとし、協会ウェブページにて公表済。

※ 黄色マーカーは前回WG以降に追加した認証

●農産物の調達基準3に基づき博覧会協会が認める認証スキーム

認証スキーム名称	スキームオーナー	対象品目
レインフォレスト・アライアンス認証 https://www.rainforest-alliance.org/ja/	レインフォレスト・アライアンス	茶類、バナナ、オレンジその他果物と野菜 ※主に国内産

●農産物の調達基準7に基づき博覧会協会が認める持続可能性に資する取組に基づいて生産され、トレーサビリティが確保されているもの

認証スキーム名称	スキームオーナー	対象品目
レインフォレスト・アライアンス認証 https://www.rainforest-alliance.org/ja/	レインフォレスト・アライアンス	バナナ、カカオ、ココナッツ、コーヒー、果物、ハーブ、スパイス、ナッツ類、茶類、野菜 ※海外産
国際フェアトレード認証 https://www.fairtrade-jp.org/	国際フェアトレードラベル機構	コーヒー、茶、カカオ、果物、果汁、香辛料、ごま、砂糖、ワイン ※海外産

●畜産物の調達基準3に基づき博覧会協会が認める認証スキーム

認証スキーム名称	スキームオーナー	対象品目
OSAKA サステナブル畜産認証制度 https://www.pref.osaka.lg.jp/0120140/doubutu/tikusaneisei/osa-ka-sustainable-tikusan.html	大阪府	牛乳、牛肉、豚肉、鶏卵、肉類等
持続可能性配慮の農場 HACCP 認証農場指定 https://ilia-farm-haccp.jp/iizokukanousei_ninsho.html	中央畜産会	牛乳、牛肉、豚肉、鶏卵、鶏肉

●畜産物の調達基準5に基づき博覧会協会が認める持続可能性に資する取組に基づいて生産され、トレーサビリティが確保されているもの

認証スキーム名称	スキームオーナー	対象品目
LPA（家畜生産保証制度） https://www.integritysystems.com.au/on-farm-assurance/audits/	インテグリティ・システム・カンパニー	オーストラリア産牛肉
NFAS（全国肥育場認定制度） https://www.aussiebeef.jp/b2b/safety/	オズミート	オーストラリア産牛肉

●畜産物の調達基準7に基づき博覧会協会が認める認証スキーム

認証スキーム名称	スキームオーナー	対象品目
平飼い鶏卵認証 https://eco-de.co.jp/hirakai/index.html	エコデザイン認証センター	鶏卵

●水産物の調達基準3に基づき博覧会協会が認める認証スキーム

認証スキーム名称	スキームオーナー	対象品目
BAP 認証※ https://info.globalseafood.org/ja-jp/bap	グローバル・シーフード・アライアンス	サーモン、エビ、ムール貝、真鯛等 ※2つ星以上のものに限る

博覧会協会が認める
認証スキーム一覧

1. 持続可能性に配慮した調達コード（第3版）の周知・運用状況

■ 認証品利用促進に向けた取組

- ・ 農・畜・水産物、パーム油の認証品利用に向けて、農水省等と連携し、協会ウェブページ、メール等でマッチング情報等を提供

[協会ウェブページへの記載]

持続可能な形で生産・運搬されたことを確認するための有効なツールとして認証制度があります。調達コードで採用している認証スキームを紹介します。

■ [認証スキーム一覧](#)  (PDF形式、1MB)

なお、調達コードに適合する商品をお探しの方は以下のサイトもご活用ください。

■ [GAP農業者検索](#) | [GAPマッチングサイト \(jadea.org\)](#)  (農産物)

■ [認証農場検索](#) | [日本GAP協会](#)  (農産物・畜産物)

■ [大阪産\(もん\)データベース \(osaka-mon.org\)](#) 

(調達コード適合商品には、サムネイル画像右下に「SDGs food」というマークが記載されています。「商品を探す」のページで、調達コード適合商品の絞り込み検索が可能です。)

[メールでの情報提供事案例]



2025日本国際博覧会の食材調達コードを
満たす畜産物供給促進事業

**バイヤー×農場HACCP認証農場
マッチング商談会・説明会**

ご案内

東京会場 2025年 1月28日(火) 13:00~15:00
会場 TKPガーデンシティ PREMIUM秋葉原 (詳細は裏面)

大阪会場 2025年 2月7日(金) 13:00~15:00
会場 TKPガーデンシティ 新大阪 (詳細は裏面)

東京、大阪開催 共通プログラム	
受付開始	12:30~
開会(挨拶)	13:00~
農場HACCPの概要(動画) (農場HACCPとは、農場HACCPの取組立ち、農場HACCP認定取得のメリット等)	
農場HACCP認証に関する最近の状況について	
食材提供に関する情報提供	
マッチング商談 (希望者)	

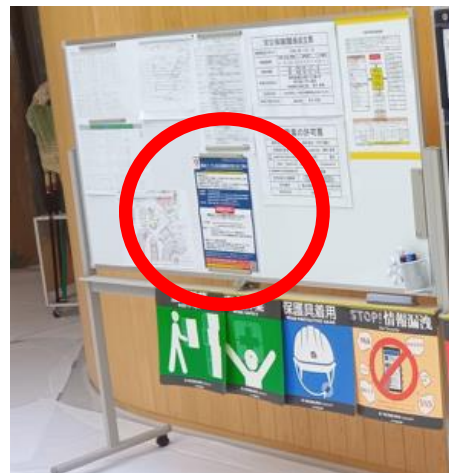
多くの参加をお待ちしております

2. 通報受付対応（グリーンバンス・メカニズム）の周知・運用状況

■ 通報受付窓口の周知

- ・ 9カ国語チラシと説明資料を用いて関連事業者宛にメールでお知らせをしてきたところ。
- ・ 工事現場等での掲示に向けて、個別ヒアリングの際に全事業者に対して紙面やデータでチラシを配付。
- ・ 会期中は会場内デジタルサイネージでも掲示し、会期直前やテーマウィーク等のタイミングに合わせてSNS発信予定。

[個別ヒアリング時に手交配付]



[デジタルサイネージ掲示イメージ]

大阪・関西万博では、「人権侵害」「調達コード違反」専用の通報受付窓口を設置しています
通報はメールで受け付けています

The Whistleblowing Section	举报受理窗口	檢舉受理窗口
Reports can be submitted by email	举报可通过电子邮件方式受理	檢舉可通過電子郵件方式受理
El Canal de Denuncias	O Canal de Denúncias	Le Canal de Signalement
Los reportes pueden ser enviados por correo electrónico	Os relatórios podem ser enviados por e-mail	Les rapports peuvent être soumis par courriel
Kênh Khiếu Nại	รายละเอียดการร้องเรียน	詳細/Further Information
Các khiếu nại có thể được gửi qua email	สามารถส่งเรื่องร้องเรียนได้ทางอีเมลหรือทางไปรษณีย์	万博 通報受付 検索 Expo Whistleblowing Search

人権/Human Rights ⇒ humanrights@expo2025.or.jp
調達/Sustainable Procurement ⇒ grievance@suscode.expo2025.or.jp

2. 通報受付対応（グリーンパス・メカニズム）の周知・運用状況

■ 通報

- ・ 1件対応済 2024/9 受付 10/7,12/2 アドバイザリー会議開催

情報収集の結果、処理手続を開始しない旨通報者に通知し、手続終了（1/23）

通報処理結果の概要

受付番号	1
受付日	2024年9月17日
通報内容	建設資材を製造する会社における不当労働行為に関する申し立て
対応状況／結果	2025年1月23日に処理手続を開始しない旨通報者に通知し、本通報受付窓口における手続を終了した。
経緯	通報者が提出した通報フォームには通報処理手続を開始するかを判断するために必要な事項である「博覧会協会又はパビリオン運営主体等が調達する調達物品等」等に関する記載がなかったため、博覧会協会は2024年10月7日、12月2日に通報対応アドバイザリー会議を実施し、適宜助言を受けながら、通報処理手続を開始するかを判断するため、関係するサプライチェーン等からの情報収集を進めてきました。具体的には、博覧会協会と契約する万博会場の工事元請事業者及びパビリオン運営主体、通報者並びに被通報者に対して、通報内容にある不当労働行為を行ったとされる建設資材を製造する会社が博覧会協会の調達先にあるかについて情報の開示を依頼しました。また、調達先の確認方法や調達先の選定に際する取引慣行についても情報収集しました。更に、通報者に対しては2024年10月～12月にかけて継続的に通報フォームで不足している情報の提供を依頼しました。 博覧会協会による情報収集の結果、通報内容にある不当労働行為を行ったとされる建設資材を製造する会社が博覧会協会の調達先にあることを示す情報を確認することができませんでした。そのため、本通報については、通報受付窓口における処理手続を開始することは困難と判断し、その旨を通報者に通知しました。
備考	本通報受付窓口以外の苦情処理メカニズムの利用の検討を提案しました。

[通報処理結果No.1](#)

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

■ヒアリング対象の選定

- これまでのWGや専門家からの意見、過去の国際イベントの報道事例等からリスクが高いと想定される事業者を抽出。

[調達コードの観点から想定されるリスクと対象事業者]

	分類	リスクの例	留意が必要な対象事業者の例
共通基準	全般(法令順守、通報)	不適切な通報受付体制、通報者への報復行為等	小規模事業者
	環境	使い捨て、森林破壊、汚染、違法資源等	木材、紙の調達事業者(建築関連等)
	人権	差別・ハラスメント、先住民の権利侵害等	木材、紙、農産物、パーム油の調達事業者(建築・飲食・物販関連)
	労働	強制・児童・長時間労働、不安全・不衛生な職場環境、外国人労働者(技能実習生等)への不当行為等	建築・縫製・清掃・物品製造事業者、農・畜・水産物、パーム油の調達事業者(建築・飲食・物販関連)
	経済	贈収賄、買いたたき・談合、犯罪組織への資金流出等	違法行為履歴事業者
個別基準	木材	違法伐採、環境・生態系破壊、労働不安全等	建築関連
	紙	違法伐採、環境・生態系破壊、労働不安全等	飲食・物販関連、ポスター等発注先
	農・畜・水産物、パーム油	不法採取、環境・生態系破壊、労働不安全、強制労働等	飲食・物販関連

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

■ヒアリング対象の選定

- 抽出した事業者の参加形態ごとに、大阪・関西万博の準備スケジュール等を考慮し、順次確認・ヒアリングを実施。
- 具体的には、参加形態ごとに説明会等で調達コードについて再周知を行った上で事前質問票を送付。その中からリスクが高いと想定される事業者に対して個別ヒアリング等を実施（110件、うち実地ヒアリング8件 2025.2末時点）。

[ヒアリング全体スケジュール]

	2023年度	2024年度	2025年度（会期中）
大阪・関西万博 準備スケジュール	ライセンス商品販売 会場整備建築工事開始（協会発注） 協賛事業者順次決定	建築工事開始（パビリオン等） ユニフォーム製造事業者、飲食、 催事事業者等、順次決定 建築・設備工事仕上	会場運営 飲食・消費物品等調達
主なヒアリング先	・ライセンス事業者 ・協会発注建築工事事業者 ・協会発注の木材、紙の確認	パビリオン出展者 ユニフォーム事業者 飲食・物販、催事参加者 清掃事業者	警備

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

■ヒアリング項目例

- 各事業者を確認したい点（主に作業員の労働環境・安全、個別基準対象品目の調達状況、通報受付体制整備状況、サプライチェーンへの働きかけ等）を事前質問票として送付し、その回答を踏まえてヒアリングを実施。

持続可能性に配慮した調達コードに関するヒアリング（清掃事業者） 事前質問票

記入日：2025 年 月 日

事業者・記入者：

※ヒアリングまでに回答を記入して送付をお願いいたします。記載が難しい項目については、当日口頭でご説明下さい。

■主に労働環境・安全について（調達コード「3. 持続可能性に関する基準」(4) 労働に関連する質問）

No	質問	回答
1	本案件の清掃事業で、作業員の労働環境に配慮した具体的な取り組みを記載してください。	
2	本案件の清掃事業で、仮に危険物（薬品等）の使用など、危険・有害な作業があれば、具体的に記載してください。また、事故災害防止、作業員の安全向上のための具体的な取り組みを記載してください。	
3	本案件の清掃事業で、（契約先も含めた）作業員の健康状態や労働環境に問題がないか等をどのように確認される予定か、その方法を記載してください。	
4	本案件の清掃事業に従事する作業員の人数、うち外国人作業員の人数（出身国別）予定を記載してください。※ボリュームを知りたいので人数は概数で結構です。	
5	本案件の清掃事業で外国人作業員がいる（予定含む）場合、日本語の理解度を確認していますか。	
6	本案件の清掃事業で外国人作業員がいる場合、外国人作業員に向けて具体的に配慮していること（予定含む）があれば記載してください。	
7	本案件の清掃事業で、技能実習生や、仲介業者を通じて受け入れた外国人作業員に従事する場合、実習生・作業員が母国または日本で不当な手数料の支払を強いられるような条件で契約していないことを、監理団体や仲介業者に確認していますか。	
8	本案件の清掃事業で外国人作業員に従事する場合、外国人作業員と契約者との契約書は何語で作成していますか。契約書が外国人作業員の理解できない言語で作成されている場合、どのような支援・対策をしていますか。	
9	本案件の清掃事業で、夜間シフトの有無、及び、18歳未満の労働者（アルバイト等含む）の有無（または雇用する予定の有無）を教えてください。仮に18歳未満の労働者がいる場合、危険有害業務や夜間業務に従事させないため	

Questionnaire on compliance with the Code of Sustainable Procurement (Official Participants' Pavilion)

Date of entry	DD/MM/YYYY
Name of Pavilion	
Name of contact person	
Email address of contact person	
Name of Building Contractor	

※Please respond in Japanese or English by Friday, January 31 and send it to the Exposition Association address (esms-choutatsu@expo2025.or.jp). For items that are difficult to answer, please respond to that effect along with the reasons. If an item does not apply to you, you may leave it unanswered.

1. Questions Mainly about Working Environment and Safety (Refer to the "Code of Sustainable Procurement(Third edition)" 3(4).)

(Please write the answer based on what you have confirmed with the building contractor. The building contractor can also directly write the answer in this form. If the building contractor has already answered the same question for another Expo project, and the answer is the same, please state the name of the project and the fact that the answer is the same as for that another project.)

No	Questions	Answers
1	Please describe specific efforts to ensure a safe and fair working environment of the workers (including workers of subcontractors; the same applies hereinafter) at the construction site for this project.	
2	Please describe specific efforts to prevent accidents and injuries and improve worker safety at the construction site for this project.	
3	Do you regularly confirm with workers (including those from contractors) at the construction site for this project to ensure that there are no problems with their health conditions or working environment?	
4	Please list the number of workers engaged at the construction site for this project, including the number of foreign workers (by country of origin).	
5	Is it possible to determine the total number of workers at the construction site for this project during the construction period, including the total number of foreign workers (by country of origin)?	
6	If there are foreign workers on the construction site for this project, do you check their level of fluency in Japanese?	
7	If there are foreign workers on the construction site for this project, are their native languages indicated on warning signs, etc.? Please describe any other considerations for foreign workers.	
8	If technical intern trainees or foreign workers accepted through intermediaries are engaged at the construction site of this project, have you confirmed with the supervising organization or intermediaries that the trainees/workers are not contracted under conditions that would force	

※ 質問票一覧は末尾に参考掲載

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

■ 個別ヒアリング等での聴取概要

- ・ 営業参加者、国内・民間パビリオン出展者、ライセンサー、清掃事業者、内装工事業者等にヒアリングを実施したほか、外国政府等の公式参加者、催事参加者等とはメール・電話で確認・指摘等を行っているところ。

(1) 調達コードの理解

項目	主な取組内容
適用範囲 ※聴取した対象事業者の参加形態は右欄()で記載。以下同じ。なお、項目全てが同一参加形態事業者からの聴取の場合には左欄()で記載。	【良い取組事例】 ・ 各担当者は調達コードを理解しており、委託業者にも連携している。（営業参加、内装工事） 【協会から指摘・情報提供を行った事例】 ・ 調達コードについて、協会との契約を行っていた会社幹部は理解していたと思うが、調達担当者は理解できていない。（営業参加） ⇒誓約書・チェックシートは受領済。このヒアリングを踏まえて調達担当者やTier2の窓口の方は必ず調達コードを確認し理解した上で調達を行うように依頼。 ・ どのような事業者がTier2に該当してどこまで調達コードを遵守すればよいのか確認したい。（営業参加、パビリオン） ⇒調達コードの適用範囲を説明した上で個別調達案件ごとに誰がTier1、Tier2にあたるかを確認し、Tier2以降に対してはTier1（ヒアリング事業者）から具体的に説明するように依頼。

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(2) 共通基準（通報受付対応の体制整備）

項目	主な取組内容
通報受付対応の体制整備	【良い取組事例】 ・ 通報窓口の周知については、自社の窓口に加え協会のポスターも掲示予定。（営業参加） ・ 社内で検討していた通報窓口を2024年4月に設置し報復行為禁止も明示し周知している。（営業参加） ・ 報復行為に関しては社内規定に定めていないが、万博を機に今後定める予定。（営業参加） ・ 特定技能の外国人である契約社員に対しても通報窓口を記載したカードを配付している。（清掃） ・ 休憩所に意見箱を設置予定。（清掃） ・ 内部通報のためのツールを導入し、従業員や外部ステークホルダー（サプライヤー、顧客等）が職場の安全、詐欺、贈収賄、利益相反、環境問題等に関する不正行為を匿名でも通報できる。（公式参加） 【協会から指摘・情報提供を行った事例】 ・ 通報受付に関するポスターなどの掲示はなかった。（内装工事） ⇒調達コードの通報受付窓口に関するポスターを手交提供し掲示を依頼。

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(2) 共通基準（長時間労働の禁止）

項目	主な取組内容
長時間労働の禁止	【良い取組事例】 ・ 作業時間は9-17時で残業なし、土日祝。休憩時間は10:00-10:30、12:00-13:00、15:00-15:30に加えて適宜小休憩。（内装工事） ・ 万博工事で施工管理に関するレガシー（効率的な作業の進め方）作りを目指しており、各工事の職長にタブレットを貸与し、新規入場者教育動画や、図面、通行ルートの変更連絡等を配信することで、作業員への情報伝達の徹底を図っている。これにより管理者・作業員ともに現場でありがちな情報の行き違い（侵入経路が変更されていてスムーズに到着できない等）が減少し好評。（内装工事） ・ 現場作業員を増員し、交代で休憩を取得できるようにしている。（公式参加） ・ 労働時間をリアルタイムで追跡・監視するシステムを導入し、過度な残業を防止している。（公式参加） ・ 勤務は7：30～15：30 15：00～23：00のシフト（残業なし）で、夏場は1時間の食事休憩のほか毎時10分ずつ小休憩も取る予定。（清掃）



3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(3) 共通基準（職場の安全・衛生）

項目	主な取組内容
職場の安全・衛生 (内装工事) ※本項目については、聴取した対象事業者の参加形態は左欄()で記載。	【良い取組事例】 ・ 作業員が使用するトイレは清潔。 ・ 夏場はスポットクーラー扇風機を増設し熱中症対策実施。 冬場は作業現場と休憩所・喫煙所にジェットヒーターを設置し、温かい食事ができるように電子レンジ・電気ポットを設置。 ・ 毎日の朝礼時、作業員の健康状態はKYシートで確認するほか、直接一人一人の顔色・目を見て確認し、気になる場合には声掛けするようにしている。 ・ 全ての現場で、朝礼時に当日の作業内容を周知し、具体的なリスクの高い作業（高所作業、火気使用作業等）のリスクアセスメントを実施。朝礼で作業員全員に脚立使用の実演確認をるところもあった。 ・ 全ての現場で、緊急時の連絡体制に関する掲示が適切になされていた。 ・ 作業エリア内でのつまずき防止のため、でっぱりになっている箇所（排水管）には目印を立てている。 ・ 塗料使用時は、他の作業者に臭気が届かないよう囲いを設けて危険と掲示し、高濃度時は送風機も使用。



3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(3) 共通基準（職場の安全・衛生）

項目	主な取組内容
職場の安全・衛生 (清掃)	【良い取組事例】 ・ 詰所にはくつろげるよう畳を敷きパーテーションを用意する予定。 ・ 夏場の熱中症に対しては、体の深部体温をチェックする腕時計型端末を作業員につけてもらうほか、ネッククーラー、ファンベストを十分に備える予定。 ・ 事故防止の取組として、指差し確認、KYトレーニングの実施、各作業員にハンドブックを所持させる予定。
職場の安全・衛生 (公式参加)	【良い取組事例】 ・ 全作業員は、現場入りする前に工事現場に関する総合的な研修を受ける（個人用保護具（PPE）の着用義務、潜在的な危険要因、安全対策、禁止行為、緊急時対応、高所作業を含む高リスク作業等）。 ・ 安全確保のため、HSE（Health, Safety & Environment）担当職員が配置されている。
職場の安全・衛生 (営業参加)	【協会から指摘・情報提供を行った事例】 ・ 縫製工場の監査、認証の確認は意識していなかったが、取引先にも労働、人権配慮を求めている。 ⇒公開されている業界団体のチェックリストを確認ツールの参考として提供。

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(4) 共通基準（外国人・移住労働者、障がい者）

項目	主な取組内容
外国人・移住労働者 （清掃） ※本項目については、聴取した対象事業者の参加形態は左欄()で記載。	【良い取組事例】 ・ 監理団体で日本語の勉強会・テストを実施した後、自社研修、実習も実施。 ・ 使用する洗剤等については特に注意が必要であるため、誤った使用をしないよう母国語にて各洗剤の使用用途をテプラにて貼り付ける予定。 ・ 契約書は入国前に母国語にて作成。仮に変更する場合にも通訳を通して母国語との2言語で対応する。 ・ 入国前に現地子会社を通じた言語面、技術面の研修を半年以上実施。 ・ 外国人作業員に対しては、日ごろから食事会や滞在先に差し入れを持参して話す機会を積極的に設けている。月1で監理団体が訪問する際に同行し、通訳交えて本音を聞き出すよう努めている。 ・ 借上げ社宅に一人一部屋入居させ、グループ会社を通じて不便がないか一人ずつ訪問しフォロー予定。 ・ 祈祷時間やヒジャブ（頭や身体を覆う布）使用についての要望を事前に確認し、要望に合った現場に派遣している。

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(4) 共通基準（外国人・移住労働者、障がい者）

項目	主な取組内容
外国人・移住労働者 （公式参加）	【良い取組事例】 ・ 日本語が不自由な方は通訳者を活用することが可能。 ・ 技能実習生や外国人労働者が不当な手数料を支払わされていないことを監督機関や仲介業者と確認済み。その旨確約する書面入手のほか、労働者への定期的なインタビュー、監査、抜き打ち検査を実施。
外国人・移住労働者、障がい者（営業参加）	【良い取組事例】 ・ 万博会場店舗向けに外国人（特定技能の外国人）を数名雇用し既存店で実地研修している。障がい者も積極的に雇用予定であり、応募があれば配慮したい。

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(5) 個別基準（木材）

	主な取組内容
認証	【良い取組事例】 ・ 什器（椅子・テーブル等）はFSC認証材や廃材使用で対応する。（営業参加） ・ サプライチェーン調査を実施し、各サプライヤーの根拠資料および関連する認証を整理している。（公式参加） ・ 個別基準の対象木材ではないプレートも別紙による確認を行う予定。（博覧会協会）
その他	【良い取組事例】 ・ 店舗の内装・インテリア・食器は建設廃材を再利用する。（営業参加） ・ 間伐材の活用を検討している。（営業参加） ・ 収穫後に産業廃棄物として処理されるパームウッドを有効活用している。（公式参加） ・ フローリング材はレンタル品であり、博覧会終了後も建築会社のレンタル製品として再利用される。（公式参加）

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(5) 個別基準（紙）

	主な取組内容
認証	【良い取組事例】 ・これまで認証紙を使用していなかったが、万博出展で初めて認証紙の見積とサンプルを取り寄せた。認証紙の調達の目的が立っている。（営業参加） 【協会から指摘・情報提供を行った事例】 ・グリーン購入法基本方針に定める水準を満たしていればよいのか。（催事参加） ⇒古紙100%であればよいが、バージンパルプを含有している場合、その部分については調達コードに従い認証や別紙で確認するように依頼。 ・FSC認証のトイレトペーパーを調達予定。古紙割合は不明（後に古紙パルプ配合率100%と確認）。（清掃） ⇒国や大阪府が定める方針に従ってトイレトペーパーは古紙パルプ配合率100%の製品を調達するように依頼。

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(5) 個別基準（農・畜・水産物、パーム油）

	主な取組内容
認証	【良い取組事例】 ・ 既に認証団体から調達先を提示いただいております、モヤシは認証品が調達できる見込み。（営業参加） ・ 生鮮農産物の調達に向けては、半年分のトマト、ナス等をリスト化し認証団体に送り調達可能か調査中。（営業参加） ・ 認証を受けた日本産のみを購入している。（公式参加） ・ 生鮮畜産物を調達予定であり、農水省からも紹介を受けて認証団体とのマッチング相談会に参加予定。（営業参加） ・ パーム油については、既に認証油を使用しており万博においても使用予定。（営業参加） 【協会から指摘・情報提供を行った事例】 ・ 今のところ認証品の調達は難しいが、予定物品の産地、生産者までのトレースはできている。認証品での原料確保の見通しが立つのであれば取引先を変更できないわけではない。（営業参加） ⇒農水省を通じて認証団体に情報共有して認証品調達先候補情報を共有してもらうので、取引先変更が可能か検討するよう依頼。 ・ 納入事業者には認証品を探してもらっているが、認証品が十分に流通していないものもある。（営業参加） ⇒品種や時期によっては認証品等が十分に流通しないものもあると認識している。認証団体に相談するよう依頼。

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(5) 個別基準（農・畜・水産物、パーム油）

	主な取組内容
絶滅危惧種（営業参加）	【協会から指摘・情報提供を行った事例】 ・ 絶滅危惧種ではアワビを調達予定。環境省のレッドリストには掲載されていなかったため調達可能か。 ⇒調達コードではIUCNのレッドリストを対象としている。例外として調達を認めている完全養殖か水産流通適正化制度に基づくものかを確認して報告するように依頼。また、絶滅危惧種を取って万博で提供する理由・意義も検討した上で調達するか検討するように依頼。 ・ 中国で採捕した二ホンウナギの稚魚で水産流通適正化制度に則ったものを調達予定。 ⇒水産流通適正化制度は、国内で適法に採捕された稚魚を対象としているため、その二ホンウナギが本当に水産流通適正化制度に則ったものか正確に確認した上で改めて報告するように依頼。 ・ 季節商品として土用の丑の日に二ホンウナギを調達予定。 ⇒例外として調達を認めている完全養殖か水産流通適正化制度と同様な仕組みで確認するかを確認・報告するように依頼。 ・ ビカーラウナギ（IUCNのレッドリスト対象外）を調達予定。 ⇒商品説明でビカーラウナギ（IUCNのレッドリスト対象外）であることの記載を工夫するように依頼。

※本項目については、聴取した対象事業の参加形態者は左欄()で記載。

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(5) 個別基準（農・畜・水産物、パーム油）

	主な取組内容
その他	【良い取組事例】 ・ 多様性に配慮するため、セントラルキッチンで認証を受けたハラル専用ラインで製造し会場で提供予定。（営業参加） ・ メーカーとコラボしたヴィーガン・主要アレルギー対応済のカレーライスを販売予定。（営業参加） ・ 持続可能な取組として、セントラルキッチンで残渣を堆肥化して採れた野菜で商品を作っており、会場でも提供予定。（営業参加） ・ 食材バリエーションを絞り込み、食材の共有化を進めることによってロスの削減に取り組む予定。（営業参加） ・ 全サプライヤーには、動物福祉（魚類福祉を含む）に関する評価制度が設けられている。（公式参加） ・ 食品ロスの管理を、適切な量における発注リストの作成、First in First outポリシーの徹底、料理の重量や生産スケジュールのトレーニング・モニタリング、各料理の正確な重量に基づいたレシピ設計によって行っている。（公式参加）

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(5) 個別基準（農・畜・水産物、パーム油）

	主な取組内容
その他	【協会から指摘・情報提供を行った事例】 ・フードダイバーシティに配慮したいが、メニューの種類は厨房スペースや機器に対する電気容量、ストック量の問題で全ての実現が難しくなっており、ヴィーガン等対応品は難しくなりそう。同じ厨房で調理するしかなく、交差汚染がありうるので全てベジタリアンと整理している。（営業参加） ⇒専用ラインを確保できるものや加工で仕入れる単体のものでヴィーガンとして整理できるものは個別に整理するように依頼。 ・食品産地は国内産のものを調達できそう。（営業参加） ⇒被災地産や近郊地産があれば特出してアピールするように依頼。 ・試飲試食品も調達コードの対象になるのか。（催事参加） ⇒試飲食品も調達コードの対象になるので、確認をお願いしたい。また、調達計画書の報告対象であれば報告するように依頼。

3. 博覧会協会における遵守状況の確認

(6) その他

	主な取組内容
その他	【良い取組事例】 ・ユニフォームは、端材や植物由来原料を使用した素材を活用し、再利用を想定した循環型のものを制作。（営業参加、パビリオン） ・トイレ用ハンドペーパーティッシュや傘袋はできる限り使用せず、ハンドロールタオルや雨傘除水機を活用予定。（パビリオン） ・野菜の調理に使用した水は、パビリオン内の植物の水やりに活用予定。（公式参加） ・スタッフ休憩室に、空気清浄機や足マッサージ器を設置予定。（パビリオン） ・会期中は看護師資格所持者、介護関連資格所持者を配置予定。（パビリオン）



4. 調達計画書の集計状況

■ 周知・確認方法

[調達計画書](#)

- ・ 協会ウェブページに調達計画書様式（品名、数量（kg）、認証等区分と名称、認証品等を調達できない理由、産地、交渉先、推奨項目・絶滅危惧種の該当、取組内容等）を掲載の上、営業参加者等にメール周知。
- ・ 提出された計画書について認証品を調達できない理由等を確認し、農水省等とも連携して新たなマッチングを促進中。

[集計状況（2025.2末時点）]

項目	主な取組内容
農産物	・ 数量割合は、野菜は認証（ex.GAP）・確認（ex.都道府県認証）で55%、米は認証品予定なく確認もわずか。認証品等を調達できない理由は、昨今の米不足により認証米の調達が難しい、精米業者からの調達ではJGAP認証・有機JAS認証品とその他米が混載される、代替え食材では同じ味の再現が困難である等。 ・ 国内産品の調達割合は高い。
畜産物	・ 認証割合はごくわずか。調達できない理由は、認証品が少なく使用量に見合う調達ができない、加工量が多く認証品では納期が間に合わない等。
水産物	・ ほとんどの品目で認証、確認品を調達予定。調達できない理由は、取扱いメーカー各社に問い合わせたが伸ばし加工したエビ（食品表示法上は生鮮食品）の認証品がなく、店内で伸ばし加工処理は難しい等。
パーム油	・ 数量割合は、認証 9 割以上。認証品を調達できない理由は、取扱い全メーカーに問い合わせたが条件をクリアできない等。

【参考】事前質問の内容（協会発注建築工事）

■主に労働環境・安全について

No	質問
1	本案件の工事現場で、作業員の労働環境に配慮した具体的な取り組みを記載してください。
2	本案件の工事現場で、事故災害防止、作業員の安全向上のための具体的な取り組みを記載してください。
3	本案件の工事現場で、（契約先も含めた）作業員の健康状態や労働環境に問題がないか等の確認方法を記載してください。
4	本案件の工事現場に従事する作業員の人数、うち外国人作業員の人数（出身国別）を記載してください。※ボリュームを知りたいので人数は概数で結構です。
5	本案件の工事現場で、工事期間中の作業員延べ人数、うち外国人作業員の延べ人数（出身国別）を把握することは可能でしょうか。 ※把握可能かどうか、その確認方法等について当日お話ししたいので、ヒアリング時点での人数確認は不要です。
6	本案件の工事現場で外国人作業員がいる場合、日本語の理解度を確認していますか。
7	本案件の工事現場で外国人作業員がいる場合、注意喚起看板等に母国語を記載していますか。 またその他、外国人作業員に向けて具体的に配慮をしていることがあれば記載してください。
8	本案件の工事現場で、技能実習生や、仲介業者を通じて受け入れた外国人作業員が従事する場合、実習生・作業員が母国または日本で不当な手数料の支払を強いられるような条件で契約していないことを、監理団体や仲介業者に確認していますか。
9	本案件の工事現場で外国人作業員が従事する場合、外国人作業員と契約者との契約書は何語で作成していますか。契約書が外国人作業員の理解できない言語で作成されている場合、どのような支援・対策をしていますか。
10	本案件の工事現場での作業に関して、労働関係法令への違反で労働基準監督署等から監督指導を受けたことがありますか。
11	会社として、建設業の「働き方改革」について具体的に取り組んでいる内容を記載してください。

■個別基準「木材」について

12	本案件で、建設材料として使用する木材がある場合、主な用途を記載してください。
13	本案件で、建設材料として使用する木材がある場合、調達する木材が調達コードの個別基準「木材」に適合することをどのように確認しますか（認証材の使用、調達コードに定める「別紙」による証明等）
14	本案件で、コンクリート型枠合板を使用する場合、再使用の状況について記載してください。
15	本案件で、コンクリート型枠合板を使用する場合、調達コードの個別基準「木材」に適合することをどのように確認しますか。
16	本案件で、建設材料、コンクリート型枠合板用の木材を新規に調達する場合、調達先に調達コードの内容をどのようにして伝えていますか。

■その他、調達コードに関する取組状況について

17	従業員からの通報（苦情）受付窓口を設けていますか。 通報者に報復行為を行わないことを規定等に定めていますか。また報復行為をしない旨公表していますか
18	契約先の作業員、外部ステークホルダー等、社外からの通報（苦情）受付窓口を設けていますか。 通報者に報復行為を行わないことを規定等に定めていますか。また報復行為をしない旨公表していますか。
19	自社で持続可能性に関する調達基準を定めていますか。 定めている場合、サプライチェーンに対して、どのような働き掛けを行っていますか

【参考】事前質問の内容（ライセンス商品 1/2）

■製造現場の状況（主に労働・人権）について

No	質問
1	ライセンス商品を製造している（予定含む）工場毎に以下項目について記載ください。 ① 自社工場か提携・委託工場 ② 従業員数（内、所在国からみた外国人労働者数） ③ ライセンス商品製造に関わらず、工場稼働年数（または、提携・委託年数）
2	自社工場の場合、労働・人権に関してどのような取組を行っていますか
3	自社工場に外国人労働者（正社員、派遣/請負、アルバイト）がいる場合、契約書は何語で作成していますか
4	自社工場に外国人労働者（派遣/請負含む）がいる場合、どの程度日本語を理解されていますか
5	自社工場に外国人労働者（派遣/請負含む）がいる場合、工場内の看板等に母国語を記載していますか。また、その他に何か配慮をしていますか
6	提携・委託工場の場合、提携・委託を始めた時に人権・労働に関してどのように問題ないと判断しましたか（帳票、確認内容等）
7	提携・委託工場の場合、年間訪問回数は何回程度ですか。現場では何をどのように確認していますか（特に、人権・労働について）
8	提携・委託工場の場合、ライセンス商品の製造を依頼するにあたり、どのように人権・労働について問題ないと判断しましたか
9	提携・委託工場の場合、児童労働がないかどのように年齢確認をしていますか
10	毎年見直される最低賃金改定をどのように把握していますか。また、どのように反映していますか。

■個別基準（紙、農・畜・水産物、パーム油）について

11	ライセンス商品に関して、紙（ポスター、チラシ、パンフレット類、チケット、コピー用紙、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ペーパーナプキン、紙袋、紙皿、紙コップ）を調達する予定がありますか。（調達していますか。） ある場合、これまで貴社では調達コードに記載している認証品等を調達していますか。あれば、具体的な物品及び認証の名称を記載ください。
12	上記の紙の調達予定がある（調達している）場合、調達コードに記載している認証品等を調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
13	ライセンス商品に関して、農産物（生鮮品）を調達する予定がありますか。調達していますか。 ある場合、これまで貴社では調達コードに記載している認証品等を使用していますか。あれば、具体的な物品及び認証の名称を記載ください。
14	農産物（生鮮品）の調達予定がある（調達している）場合、調達コードに記載している認証品等を調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
15	ライセンス商品に関して、畜産物（生鮮食品）を調達する予定がありますか。（調達していますか。） ある場合、畜産物（生鮮品）に関して、これまで貴社では調達コードに記載している認証品等を調達していますか。（あれば、具体的な物品及び認証の名称をご記載ください）

【参考】事前質問の内容（ライセンス商品 2/2）

No	質問
16	畜産物（生鮮品）の調達予定がある（調達している）場合、調達コードに記載している認証品等を調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
17	ライセンス商品に関して、水産物（生鮮品）を調達する予定がありますか。調達していますか。 ある場合、水産物（生鮮品）に関して、これまで貴社では調達コードに記載している認証品や漁業法などによるもの等を調達していますか。（あれば、具体的な物品及び認証等の名称をご記載ください）
18	水産物（生鮮品）について、調達予定がある（調達している）場合、調達コードに記載している認証品等を調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
19	ライセンス商品に関して、絶滅危惧種（ミナミマグロ、メバチマグロ、ニホンウナギ、アワビ等。加工品含む）を調達する予定はありますか。調達していますか。
20	ライセンス商品に関して、パーム油を原料とする揚げ油、石鹼・洗剤を調達する予定がありますか。調達していますか。 予定がある場合、パーム油を原料とする揚げ油、石鹼・洗剤に関して、これまで貴社では調達コードに記載している認証油を原料としたものを調達していますか。（あれば、具体的な認証の名称をご記載ください）
21	パーム油を原料とする揚げ油、石鹼・洗剤の調達予定がある（調達している）場合、調達コードに記載している認証油を原料としたものを調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
22	ライセンス商品に関して、フードロス削減・資源循環に配慮した取組（予定含む）をご記載ください。

■その他、調達コードに関する取組状況について

23	従業員や外部ステークホルダーからの通報（苦情）受付窓口を設けていますか。 通報者に報復行為を行わないことを社内規定に定めていますか。また、公表していますか
24	自社で持続可能性に関する調達基準を定めていますか。 また、サプライチェーンや提携・委託工場に対して、どのような働き掛けを行っていますか
25	調達先等に、大阪・関西万博の調達コードをどのように伝えていますか
26	チェックシートC.2環境の項目の中で、特に留意していることはありますか
27	チェックシートC.3人権の項目の中で、特に留意していることはありますか
28	チェックシートC.4労働の項目の中で、特に留意していることはありますか
29	チェックシートC.5経済の項目の中で、特に留意していることはありますか

【参考】事前質問の内容（パビリオン 上期分 1/2）

■建築に関わる労働環境・安全について

No	質問
1	貴パビリオンの工事現場で、作業員の労働環境に配慮した具体的な主な取組みを記載してください。
2	貴パビリオンの工事現場で、事故災害防止、作業員の安全向上のための主な具体的な取組みを記載してください。
3	貴パビリオンの工事現場で、（契約先も含めた）作業員の健康状態や労働環境に問題がないか等の確認方法を記載してください。
4	貴パビリオンの工事現場に従事する作業員の人数、うち外国人作業員の人数（出身国別）を記載してください。
5	貴パビリオンの工事現場で、工事期間中の作業員延べ人数、うち外国人作業員の延べ人数（出身国別）を把握することは可能でしょうか。
6	貴パビリオンの工事現場で外国人作業員がいる場合、日本語の理解度を確認していますか。
7	貴パビリオンの工事現場で外国人作業員がいる場合、注意喚起看板等に母国語を記載していますか。 またその他、外国人作業員に向けて具体的に配慮をしていることがあれば記載してください。
8	貴パビリオンの工事現場で、技能実習生や、仲介業者を通じて受け入れた外国人作業員が従事する場合、実習生・作業員が母国または日本で不当な手数料の支払を強いられるような条件で契約していないことを、監理団体や仲介業者に確認していますか。（はい・いいえ）
9	貴パビリオンの工事現場で外国人作業員が従事する場合、外国人労働者と契約者との契約書は何語で作成していますか。契約書が外国人作業員の理解できない言語で作成されている場合、どのような支援・対策をしていますか。
10	貴パビリオンの建築事業者が、建設業の「働き方改革」について会社として具体的に取り組んでいる内容を記載してください。
11	貴パビリオンの建築事業者が、当パビリオンでの作業に関して、労働関係法令への違反で労働基準監督署等から監督指導を受けたことがありますか。

■個別基準「木材」について

12	建設材料として使用する木材がある場合、主な用途を記載してください。
13	建設材料として使用する木材がある場合、調達する木材が調達コードの個別基準「木材」に適合していることをどのように確認していますか。（例：認証材の使用、調達コードに定める「別紙」による証明等）
14	コンクリート型枠合板を再使用している場合、どの現場で使用していたものか把握していますか。
15	コンクリート型枠合板を使用している場合、調達コードの個別基準「木材」に適合することをどのように確認していますか。
16	建設材料、コンクリート型枠合板用の木材を新規に調達する場合、調達先にどのように調達コードの内容を伝えていますか。

【参考】事前質問の内容（パビリオン 上期分 2/2）

■その他（調達コードに関する取組状況、個別基準の調達予定等）について

No	質問
17	パビリオンを運営する組織内（パビリオン勤務者含む）の人々からの通報（苦情）受付窓口を設けていますか。または、設ける予定ですか。通報者に報復行為を行わないことを規定等に定めていますか。また報復行為をしない旨公表していますか。
18	契約先の作業員、外部ステークホルダー等、組織外からの通報（苦情）受付窓口を設けていますか。または、設ける予定ですか。通報者に報復行為を行わないことを規定等に定めていますか。また報復行為をしない旨公表していますか。
19	貴パビリオンに関連する調達に関して、調達基準を定めていますか。定めている場合、サプライチェーンに対して、どのような働き掛けを行っていますか。
20	大阪・関西万博の「持続可能性に配慮した調達コード」の内容について、貴パビリオンの調達担当者は確認・理解していますか。また、調達先には、どのように伝えていますか。
21	貴パビリオンのユニフォームは、製造先が決まっていますか。決まっている場合、どちらの国で製造予定ですか（委託先の工場含む）。ユニフォームの調達について、製造先が未定の場合は、いつ頃決まる予定ですか。（未定の場合は、改めて協会から確認させていただきます）
22	貴パビリオンのユニフォームの生産工場に対し、労働・人権に関して、どのような監査を行う予定ですか。
23	ユニフォームの素材について、どのような持続可能性の配慮を行う予定ですか。また、会期後に廃棄物とならないようリユース又はリサイクルする予定はありますか。（ある/なし）
24	万博に関連して、農産物（生鮮食品）を調達する、または、テナント出店者等が扱う予定はありますか。（ある/なし）
25	万博に関連して、畜産物（生鮮食品）を調達する、または、テナント出店者等が扱う予定はありますか。（ある/なし）
26	万博に関連して、水産物（生鮮食品）を調達する、または、テナント出店者等が扱う予定はありますか。（ある/なし）
27	万博に関連して、水産物の絶滅危惧種（ミナミマグロ、メバチマグロ、ニホンウナギ、アワビ等。加工品含む）を調達する、または、テナント出店者等が扱う予定はありますか。（ある/なし）
28	万博に関連して、パーム油を原料とする揚げ油、石鹼・洗剤を調達する予定はありますか。または、テナント出店者等が扱う予定はありますか。（ある/なし）

【参考】事前質問の内容（パビリオン 下期分）

■個別基準（紙、農・畜・水産物、パーム油）について

No	質問
1	万博に関連する調達において、紙については調達コードに記載している認証品等を調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
2	万博に関連する調達において、農産物（生鮮品）については調達コードに記載している認証品等を調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
3	万博に関連する調達において、畜産物（生鮮品）については調達コードに記載している認証品等を調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
4	万博に関連する調達において、水産物（生鮮品）については調達コードに記載している認証品等を調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
5	万博に関連して、水産物の絶滅危惧種（ミナミマグロ、メバチマグロ、ニホンウナギ、アワビ等。加工品含む）を調達する、または、テナント出店者等が扱う予定はありますか。ある場合は、どのような物を調達予定ですか。
6	万博に関連する調達において、パーム油を原料とする揚げ油、石鹼・洗剤に関しては調達コードに記載している認証油を原料としたものを調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
7	フードロス削減・資源循環に配慮した取組（予定）をご記載ください。
8	フードダイバーシティへの対応予定があれば教えてください。特に、ハラル、ベジタリアン、ヴィーガン、アレルギーなどに対応したメニューのご予定があればその種別と具体的なメニューを例示してください。
9	その他、アニマルウェルフェアへの対応等、持続可能性への配慮に繋がるメニューや取組があれば例示してください。
10	農産物（生鮮品）、畜産物（生鮮品）、水産物（生鮮品）を合わせて、凡そ何トンくらい調達される予定ですか。
11	パーム油を原料とする揚げ油、石鹼・洗剤は、凡そ何トンくらい調達される予定ですか。

■その他について

12	貴パビリオンに関連して働くスタッフ（清掃、警備、運営スタッフ等）の労働環境安全について、どのように対応する予定ですか。
13	事業者選定において、持続可能性に関する選定基準を定めていますか。（定めていましたか。）

【参考】事前質問の内容（営業参加 1/2）

■調達コードに関する取組状況について

No	質問
1	万博の「持続可能性に配慮した調達コード」の内容について、貴事業者の調達担当者は確認・理解していますか。また、調達先には、調達コードの内容をどのように伝えています（伝える予定で）か。
2	組織内（大阪・関西万博関連勤務者含む）の人々からの通報（苦情）受付窓口を設けていますか。または、設ける予定ですか。通報者に報復行為を行わないことを規定等に定めていますか。また報復行為をしない旨公表していますか。
3	契約先の作業員、外部ステークホルダー等、組織外からの通報（苦情）受付窓口を設けていますか。または、設ける予定ですか。設けている（予定がある）場合、どのように窓口の周知を行っていますか。通報者に報復行為を行わないことを規定等に定めていますか。また報復行為をしない旨公表していますか。

■個別基準（紙、農・畜・水産物、パーム油）について

4	万博に関連して、紙（ポスター、チラシ、パンフレット類、チケット、コピー用紙、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ペーパーナプキン、紙袋、紙皿、紙コップ）を調達する予定がある方にお伺いします。これまで貴社では認証紙を使用されてきましたか。（あれば、具体的な物品及び認証種を例示ください）
5	万博に関連する調達において、紙については調達コードに記載している認証品等を調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
6	万博に関連して、農産物（生鮮品）を調達する、または、テナント出店者等が扱う予定がある方にお伺いします。農産物（生鮮品）に関して、これまで貴社では調達コードに記載している認証品等を使用していますか。（あれば、具体的な物品及び認証種を例示ください）
7	万博に関連する調達において、農産物（生鮮品）については調達コードに記載している認証品等を調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
8	万博に関連して、畜産物（生鮮食品）を調達する、または、テナント出店者等が扱う予定がある方にお伺いします。畜産物（生鮮品）に関して、これまで貴社では調達コードに記載している認証品等を使用していますか。（あれば、具体的な物品及び認証種を例示ください）
9	万博に関連する調達において、畜産物（生鮮品）については調達コードに記載している認証品等を調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。

【参考】事前質問の内容（営業参加 2/2）

11	万博に関連する調達において、水産物（生鮮品）については調達コードに記載している認証品等を調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
12	万博に関連して、水産物の絶滅危惧種（ミナミマグロ、メバチマグロ、ニホンウナギ、アワビ等。加工品含む）を調達する、または、テナント出店者等が扱う予定はありますか。（ある/なし）
13	万博に関連して、パーム油を原料とする揚げ油、石鹼・洗剤を調達する、または、テナント出店者等が扱う予定がある方にお伺いします。パーム油を原料とする揚げ油、石鹼・洗剤に関して、これまで貴社では調達コードに記載している認証油を原料としたものを使用していますか。（あれば、具体的な認証種を例示ください）
14	万博に関連する調達において、パーム油を原料とする揚げ油、石鹼・洗剤に関しては調達コードに記載している認証油を原料としたものを調達する必要がありますが、確保できる見込みは立っていますか。確保できる見込みが立っていない場合には、現段階で何割程度見込みが立っていないのか、またその理由をご記載ください。
15	フードロス削減・資源循環に配慮した取組（予定）をご記載ください。
16	店舗におけるフードダイバーシティへの対応予定があれば教えてください。特に、ハラル、ベジタリアン、ヴィーガン、アレルギーなどに対応したメニューのご予定があればその種別と具体的なメニューを例示してください。
17	その他、アニマルウェルフェアへの対応等、持続可能性への配慮に繋がるメニューや取組があれば例示してください。
18	農産物（生鮮品）、畜産物（生鮮品）、水産物（生鮮品）を合わせて、凡そ何トンくらい調達される予定ですか。
19	パーム油を原料とする揚げ油、石鹼・洗剤は、凡そ何トンくらい調達される予定ですか。

【参考】事前質問の内容（会場清掃）

■主に労働環境・安全について

No	質問
1	本案件の清掃事業で、作業員の労働環境に配慮した具体的な取り組みを記載してください。
2	本案件の清掃事業で、仮に危険物（薬品等）の使用など、危険・有害な作業があれば、具体的に記載してください。また、事故災害防止、作業員の安全向上のための具体的な取り組みを記載してください。
3	本案件の清掃事業で、（契約先も含めた）作業員の健康状態や労働環境に問題がないか等をどのように確認される予定か、その方法を記載してください。
4	本案件の清掃事業に従事する作業員の人数、うち外国人作業員の人数（出身国別）予定を記載してください。※ボリュームを知りたいので人数は概数で結構です。
5	本案件の清掃事業で外国人作業員がいる（予定含む）場合、日本語の理解度を確認していますか。
6	本案件の清掃事業で外国人作業員がいる場合、外国人作業員に向けて具体的に配慮していること（予定含む）があれば記載してください。
7	本案件の清掃事業で、技能実習生や、仲介業者を通じて受け入れた外国人作業員が従事する場合、実習生・作業員が母国または日本で不当な手数料の支払を強いられるような条件で契約していないことを、監理団体や仲介業者に確認していますか。
8	本案件の清掃事業で外国人作業員が従事する場合、外国人作業員と契約者との契約書は何語で作成していますか。契約書が外国人作業員の理解できない言語で作成されている場合、どのような支援・対策をしていますか。
9	本案件の清掃事業で、夜間シフトの有無、及び、18歳未満の労働者（アルバイト等含む）の有無（または雇用する予定の有無）を教えてください。仮に18歳未満の労働者がいる場合、危険有害業務や夜間業務に従事させないために行っていることはありますか。
10	清掃事業に関して、過去5年以内に労働関係法令への違反で労働基準監督署等から監督指導を受けたことがありますか。
11	会社として、清掃事業の「働き方改革」について具体的に取り組んでいる内容を記載してください。

■個別基準（紙、パーム油）について

12	本案件で、紙（ポスター、チラシ、パンフレット類、コピー用紙、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ペーパーナプキン、紙袋等）を使用する予定がある場合、調達コードの個別基準「紙」に適合するものを調達予定ですか。
13	本案件で、パーム油を原料とする石鹸・洗剤を使用する予定がある場合、調達コードの個別基準「パーム油」に適合するものを調達予定ですか。

■その他、調達コードに関する取組状況について

14	従業員からの通報（苦情）受付窓口を設けていますか。 通報者に報復行為を行わないことを規定等に定めていますか。また報復行為をしない旨公表していますか。
15	契約先の作業員、外部ステークホルダー等、社外からの通報（苦情）受付窓口を設けていますか。 通報者に報復行為を行わないことを規定等に定めていますか。また報復行為をしない旨公表していますか。

【参考】内装工事における質問・確認事項

質問・確認事項

【内装工事現場での労働人権面（安全衛生）】

- ・勤務時間・曜日、残業状況
- ・危険作業（危険な機器や化学薬品を扱うか）、及び事故を起こさない予防措置
- ・塗料（化学物質）や積み物の管理状況
- ・機器の安全、保護、メンテナンス
- ・空気中の汚染度（化学物質）の管理
- ・寒さ対策
- ・休憩時間の確保、移動の自由
- ・避難計画、避難経路の確保
- ・緊急時手順の作成と共有
- ・外国人労働者がいる場合の言語対応、コミュニケーション、標識確認
- ・労働時間、休憩、休暇などの記録書類の確認

【内装工事現場の周辺施設】

- ・休憩所、トイレの公衆衛生状況（数、スペースや寒さ対策も含め）
- ・飲料水の確保
- ・喫煙所の状況
- ・消火器、緊急時対応機器、緊急用出口、避難経路の確保
- ・応急処置用具、資格を持つスタッフの有無
- ・廃棄物の取扱い、処理工程
- ・有害物管理、処理工程
- ・工事情報の看板・張り紙確認